



給食だより

令和7年度11月号

調布市立第四中学校

11月は、さつまいも・里芋・きのこ・柿など、秋のおいしい味覚がとれる時期です。旬の食べ物は味がいいだけではなく、栄養が豊富に含まれています。給食でも秋の野菜や果物を献立に取り入れています。お家でもぜひ味わってみてください。



11月23日は勤労感謝の日



11月23日は「勤労感謝の日」です。私たちが普段何気なくしている食事には、その裏側に食べ物を育てる人や運搬する人、料理をする人など、様々な人たちの働きがあります。あらためて、毎日おいしい食事が食べられることに感謝しましょう。

給食を支えてくれている人たち

普段食べている給食は、若葉小学校の栄養士さんが作成しており、栄養バランスはもちろん、旬の食材や郷土料理、行事食など「給食が楽しみになる」工夫がされています。

調理を担当してくださっているのは、調理委託会社の「株式会社 東京天竜」さん。小学校・中学校合わせて毎日1300食以上の給食を作っています。

作られた給食は配送委託業者の「SBS ロジコム関東株式会社」さんが第四中学校まで運び、みなさんの教室まで届けてくれます。

毎日たくさんの方々の支えにより、給食が食べられています。給食を支えてくれている方への感謝の気持ちを忘れずにいただきましょう。



若葉小調理室の1日の流れ

6:20	出勤・身支度	
6:30	納品・検収	
7:00	下処理	
9:40	中学校の調理開始	
10:30	小学校の調理開始	
10:40	中学校の給食を配食	
11:15	コンテナをトラックに積み 中学校へ配送	
12:00	小学校の給食を配膳	
13:00	片付け・清掃	
15:30	翌日の打ち合わせ	

餃子やハンバーグなどは基本、全て手作りしています！



11月28日はゲゲゲ忌献立

「ゲゲゲの鬼太郎」の作者、漫画家・水木しげるさんは調布市の名誉市民です。水木さんは鳥取県境港市で育ち、その後、93歳まで調布市で過ごしました。調布市では水木さんの亡くなった11月30日を「ゲゲゲ忌」とし、様々な催しが行われています。給食では28日に、水木さんの好物を取り入れた献立となっていますので、お楽しみに！

©水木プロ



木島平村姉妹都市盟約40周年

昭和60年8月1日に調布市は、教育や文化、スポーツ、産業など広く交流を図り、住民相互のふれあいを深めながら発展を図ることを目的とし、長野県の木島平村と姉妹都市盟約を結びました。今年は盟約を結んで40周年、給食では11月10日を中心に、木島平産の食材を使用した献立を予定しています。

